



平成25年度技術委員会

オープンデータ流通推進コンソーシアム データガバナンス委員会 利活用・普及委員会 実施報告

2014.04.15

オープンデータ流通推進コンソーシアム 事務局

データガバナンス委員会 第3回実施概要紹介

○第3回

■ 日時 : 2014年3月18日(火) 13:30~15:30

■ 内容

- ▶ 1. オープンデータ化ガイド（利用ルール編）（骨子案）について
- ▶ 2. 自治体分科会からの要望について
 - ◇ 自治体分科会の検討における懸念点の紹介

1.1 オープンデータ化ガイド（利用ルール編）（骨子案）

目次

1. 背景と目的
 - (1) オープンデータに関する主な動向
 - (2) オープンデータの定義
 - (3) 本ガイドの作成目的
2. オープンデータ化のために必要なこと
 - (1) オープンデータ化の課題
 - (2) 課題への対応
 - (3) オープンデータに対応したライセンスの付与
3. データガバナンス委員会におけるオープンデータ対応ライセンスの検討経緯
4. 主なライセンスの種類と概要
 - (1) CC-BY
 - (2) パブリックドメインとCC0
 - (3) 利用ルールひな形（標準利用規約）
5. 各ライセンスの比較
6. ライセンスの選定・利用にあたって

（参考資料）

参考1： CC-BY リーガルコード

参考2： CC0 リーガルコード ※日本語版ドラフト

参考3： 各府省ホームページの利用ルールの見直しのひな形（素案）

※2014年2月28日 電子行政オープンデータ実務者会議 ルール・普及WG資料1

1.2 自治体分科会からの要望について

■ 検討依頼事項

- ▶ 利活用普及委員会自治体分科会で実施した会員アンケートでは、「住民基本台帳ベースの人口及び世帯データ」について、可能な限り粒度の細かい情報に対するニーズが高いという結果が出ている。
- ▶ このデータを公開することができるか自治体会員にアンケートを実施したところ、以下のような論点が提示されている。

◇町丁字別のデータ等で、対象者世帯が1つ（ないし少数）というような場合、世帯が特定されるおそれがあるが、それが1つ（ないし少数）であるということを公表しても問題ないか。

◇住民基本台帳ベースのデータで、世帯主、続柄等の情報を統計処理して出すとして、その際、粒度を細かくすると世帯が特定される可能性があるが、そのような情報を公表しても問題ないか。

- ▶ 統計法においても、住民基本台帳法においても、個票や台帳そのものの公開については禁止規定があるが、このように類推可能なデータについては法律に記載がないことが、自治体の判断が分かれることにつながっている。
- ▶ 法の趣旨からして公開するべきではないという自治体と、禁止されていないので公開するという自治体があり、自治体によって対応が分かれている状態にある。

1.2 自治体分科会からの要望

- 法的な対応について、会員自治体内でも現状の対応や考え方も分かれているため、ガバナンス委員会に諮問

表示していない自治体	<ul style="list-style-type: none"> 現在公開している人口データ(町丁名毎、5歳間隔)については、<u>世帯が特定されるのを防ぐため、町丁字の世帯数が3世帯以下の場合、情報を非表示にしている。</u>(※区毎の集計値から逆算できる場合は、非表示とする世帯数上限を拡大する場合もある。) 総務省統計局の<small>小地域集計結果の秘匿方法</small>にならい、プライバシーに配慮するため、町丁・字単位で、男または女の人口いずれかが9人以下の場合、その町丁・字の表は秘匿している。 どこまでの情報を秘匿すれば、プライバシーが保護されるかは、データ項目の性質にも係わってくるため、関係部署との個別調整が必要になる。
表示している自治体	<ul style="list-style-type: none"> 秘匿すべき明確な根拠が不明確であるため、推計人口、住基ベースの町丁別人口など、秘匿項目を設けず公開している。

町丁字別のデータにおいて、非表示にしている例

世帯数	人 口			年 齢 (5 歳 階 級) 別 人 口									
	総 数	男	女	0歳未満	0～9歳	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39		
35,874	71,496	33,369	38,126	2,489	2,633	2,800	2,905	3,388	3,435	3,731	4,201		
517	1,044	504	540	24	18	47	59	30	54	46	63		
426	831	389	442	10	14	23	34	39	28	32	31		
138	290	131	159	12	4	13	7	12	19	20	9		
80	167	76	91	13	11	7	3	4	4	22	15		
225	458	203	255	34	13	20	24	13	21	30	35		
461	924	433	491	30	38	36	45	28	27	53	62		
56	110	56	54	1	2	3	6	7	6	2	1		
335	677	302	375	12	10	20	25	28	13	27	37		
303	585	262	323	14	18	24	17	19	19	21	33		
145	296	117	179	9	5	2	10	14	12	19	13		
127						8	34	29	9	7			
370							30	33	33	24	23		
713							67	94	73	89	91		
164							24	26	12	19	25		
289	584		339	29	22	16	22	24	35	36	52		
2	6	3	3	x	x	x	x	x	x	x	x		
598	1,214	544	670	55	56	57	75	41	55	40	60		
384	816	389	427	21	17	35	32	36	39	46	37		
470	857	352	505	13	25	40	32	25	27	22	41		
228	364	172	192	9	5	17	14	34	24	9	5		

世帯数が「3」以下の場合、年齢別人口を非表示にしている。

町丁字別のデータにおいて、表示にしている例

区 分	全 市			●●区	●●区	●●区	
	総 数	男	女				
出 生	1,208	601	607	172	139	229	
死 亡	921	503	418	182	136	129	
自然増 △減	287	98	189	△ 10	3	100	
増 転	県外から	3,944	2,084	1,860	565	260	800
	県内から	1,531					
	市内他区から	1,417	747	670	132	179	251
加	そ の 他	51	30	21	12	7	1
計	6,943	3,657	3,286	983	705	1,407	

人数が「1」でも表示

利活用・普及委員会 第3回・第4回実施概要紹介

○第3回

■ 日時 : 2014年2月20日(木) 15:00~17:00

■ 内容

- ▶ 1. オープンデータシンポジウム開催報告
- ▶ 2. オープンデータ・アプリコンテストおよび勝手表彰について
- ▶ 3. 関連事業の紹介
 - ◇ 政府データカタログサイト試行版
 - ◇ 総務省オープンデータ実証実験 (総務省)
 - ◇ オープンデータ・ユースケースコンテスト (経産省・総務省)
- ▶ 4. 関連イベントの紹介
 - ◇ LODチャレンジ2013 (LODチャレンジ実行委員会)
 - ◇ International Open Data Day (OKFJ)
- ▶ 5. 自治体分科会について
- ▶ 6. ビジネスモデル検討ヒアリングについて
- ▶ 7. 会員からのオープンデータ関連の取り組み紹介

利活用・普及委員会 第3回・第4回実施概要紹介

○第4回

■ 日時 : 2014年3月13日(木) 10:00~12:00

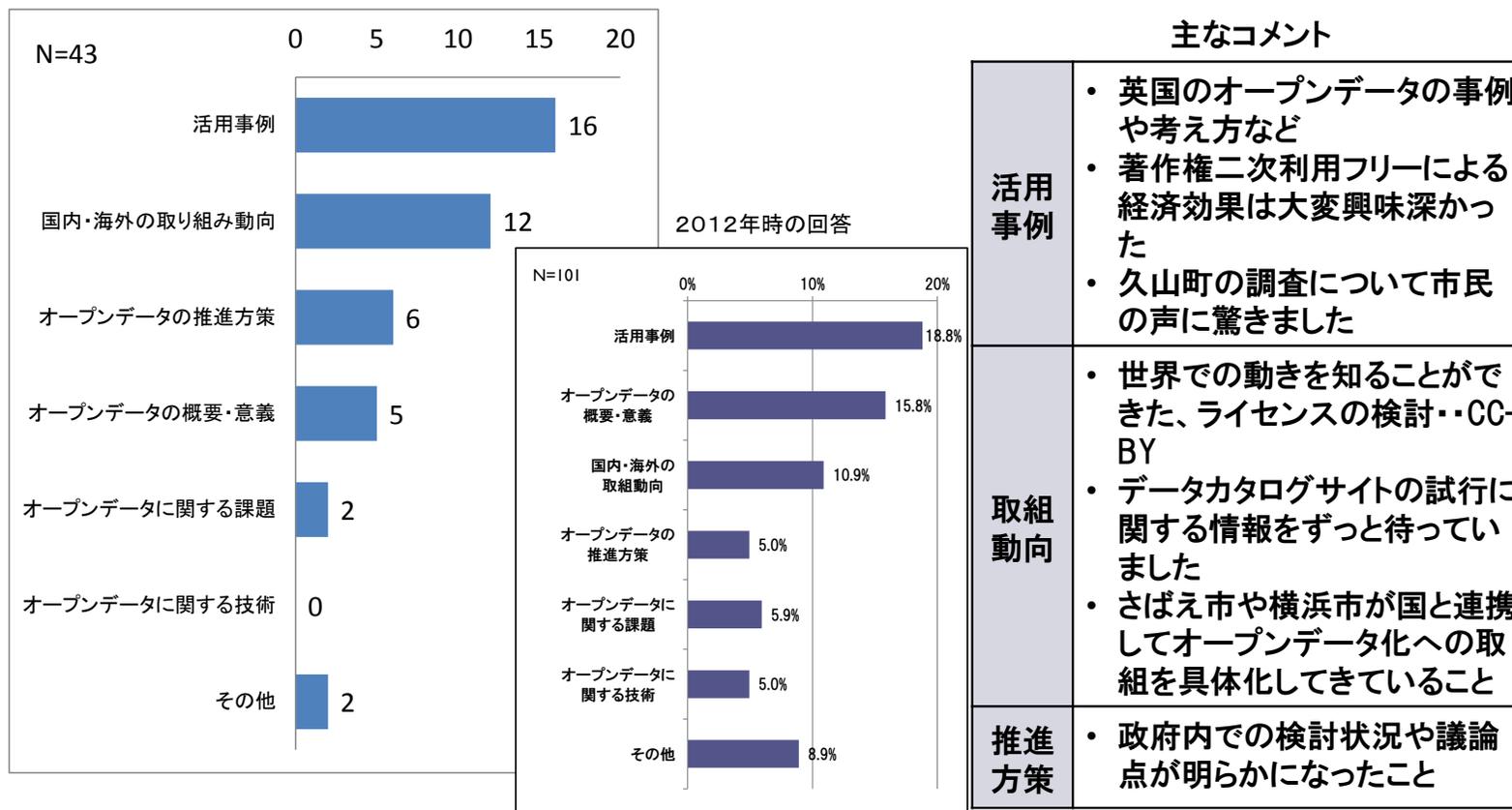
■ 内容

- ▶ **1. オープンデータ・アプリコンテスト授与式**
 - ◇ 総務省挨拶
 - ◇ 最優秀賞・優秀賞・佳作 授与
 - ◇ プレゼンテーション（最優秀賞・優秀賞・佳作の受賞者）
 - ◇ 技術賞 授与
 - ◇ 実証実験賞 授与（各実証実験請負事業者）
- ▶ **2. 勝手表彰授与式**
 - ◇ 最優秀賞・優秀賞
 - ◇ スポンサー賞（各スポンサー）
- ▶ **3. 審査委員長全体講評**
- ▶ **4. 集合写真撮影**

2.1 オープンデータシンポジウム開催報告

■ アンケート結果分析／特に参考になった内容

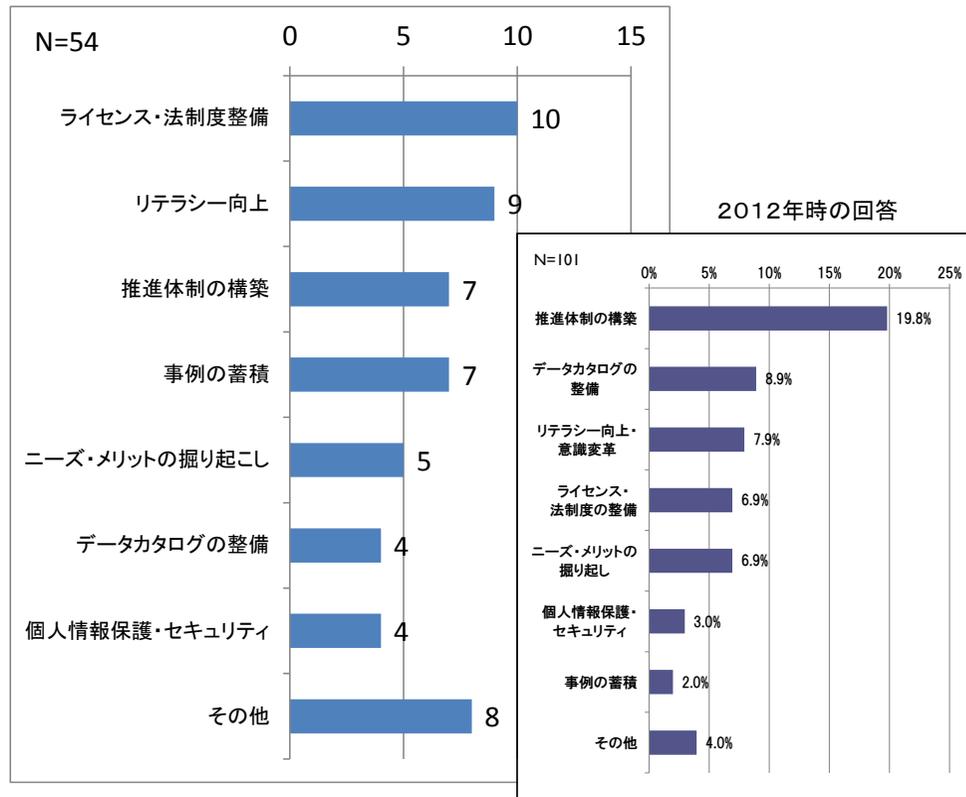
■ 特に参考になった内容として、活用事例を挙げる人が最も多く、英国の事例や漫画の二次利用自由化という事例への反響が多い。次いで国内・海外の取り組み動向が挙げられた。昨年に比べ、国内外への取り組み動向への反響が増えている。



2.1 オープンデータシンポジウム開催報告

■ アンケート結果分析／普及に向けた課題

- 利用・普及に向けた課題については、昨年と異なった傾向となっており、ライセンスや法整備、リテラシー等、より具体的な課題に関心が移っている。
- 一方、データカタログの公開開始を受け、データカタログへの課題指摘は減少している。



主なコメント

ライセンス・法整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共データの著作権の取り扱い、その前提として、公共データをどう定義するか ・ 政府の著作権を活用できていない、価値ある情報ならば二次利用時の利益何%とか納めさせても良い ・ 犯罪や違法なことに利用されてしまった時の責任や対処など
リテラシー向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほとんどの自治体職員はオープンデータすら知らない ・ データの読み方、使い方、科学的思考、比較など、利用する側(国民)のリテラシー
推進体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受け身状態にある自治体にフォーカスした議論 ・ 企業と公的機関の連携、協力体制

2.2 関連事業紹介

1. データカタログサイト試行版



- 2013.12.20に、政府のデータカタログサイト(試行版)が公開されました。
- 現在、約10,000のデータセットが公開されています。
- 開発者向けコーナーや、意見受付コーナーが用意されています。試行版に寄せられた意見・要望などは、来年度、本格版を構築する際に活用されます。どんどん活用して、意見・要望を寄せましょう。

3. オープンデータ・ユースケースコンテスト



- 主催：経済産業省・総務省。(http://opendata-contest.jp/)
- 2014.02.07(金)に表彰式が行われました。受賞者は以下のとおりです。

1) アプリケーション部門

賞	作品名	作成者
最優秀賞	NGY Night Street Advisor ~ 明るい夜道を案内する安心・安全な歩行者ナビゲーションシステム	明石工業高等専門学校
優秀賞	AED SOS	Team AED SOS
	東海道中ぶらり旅	チーム よこはま
審査員特別賞	市民がつくる二次加工データの流通とデータクリエータ育成を支援する基盤アプリケーション LinkData.org	理研豊田研究室
優秀アプローチ賞	LifeLine (仮称) 防災システム	LifeLine (仮称) 防災システムプロジェクトチーム
	越前市ゴミチェッカー	越前市ぶらぶらぼ
技術賞	Where Does My Water Go? 千葉県浦安市の場合	インディゴ株式会社
	SVG版地下構造データ公開システム	地下構造データ連携型システムの流通推進協議会

4

3. オープンデータ・ユースケースコンテスト



2) オープン化推進部門

賞	作品名	作成者
優秀賞	観光・交通・住民生活を連携・融合するオープンデータプラットフォーム	チーム よこはま
	市民主体の政策形成のための議会データレポジトリの作成	Code for 議会
	ISHINOMAKI LIFE ASSIST SERVICE	石巻ICT戦略会議
	国際標準に対応した地域情報提供サービス ~ オープンデータを活用したGISとBIMの融合 ~	株式会社バスコ/セコム株式会社 IS研究所/株式会社コミュニケーションシステム

2.3 関連イベント紹介

1. International Open Data Day 2014



• 昨年に続き、今年も International Open Data Day が、2/22(土)に全世界で開催されます。

• 国内では計31都市が参加(2/11現在)。昨年の8都市から大幅増です。

2. LODチャレンジ2013



- 2011年度にスタートし、今年で3年目(オープンデータコンテストの先駆け)。
- 73件→205件→321件と応募総数もどんどん増加。
- 今年は既に応募を締め切り、現在、審査中。3/7(金)のセマンティックWEBカンファレンス2014で授賞式を行う予定。

1. International Open Data Day 2014



• 今年の開催都市(国内)は以下のとおり(2/11現在)。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1. 北海道札幌市 | 17. 福井県鯖江市、越前市、福井市 |
| 2. 北海道旭川市 | 18. 長野県須坂市 |
| 3. 青森県 | 19. 岐阜県 |
| 4. 岩手県滝沢市 | 20. 静岡県 |
| 5. 宮城県仙台市 | 21. 静岡県静岡市(静岡県立大学、三保松原) |
| 6. 福島県会津若松市 | 21. 静岡県湖西市 |
| 7. 群馬県前橋市 | 22. 愛知県名古屋市中区 |
| 8. 千葉県千葉市 | 23. 京都市 |
| 9. 千葉県流山市 | 24. 大阪市 |
| 10. 東京都 | 25. 兵庫県丹波市 |
| 11. 東京都荒川区 | 26. 島根県松江市 |
| 12. 二子玉川(東京都世田谷区) | 27. 岡山県瀬戸内市 |
| 13. 神奈川県横浜市 | 28. 徳島県 |
| 14. 神奈川県川崎市 | 29. 福岡県北九州市 |
| 15. 神奈川県厚木市 | 30. 福岡県飯塚市 |
| 16. 石川県金沢市(野々市市、河北郡内灘町とも連携予定) | 31. 佐賀県佐賀市 |

<http://odhd14.okfn.jp/>

2.4 自治体分科会活動報告

■ 自治体分科会構成

会員種別		検討内容	検討時期・ 検討方法
自治体会員		<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>会員アンケートの結果、ニーズの高かったデータ公開方法について、自団体でも対応可能であるか、対応が難しい場合はなにがボトルネック要素となりうるのか検討を行う</u> ・ 抽出された課題のうち、法的な課題については、データガバナンス委員会で検討する 	1月中旬から自治体分科会ML上で随時議論
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自治体行政情報実証事業」において対象自治体が公開したデータ公開方法について自団体でも対応可能であるか、対応が難しい場合はなにがボトルネック要素となりうるのか検討を行う 	自治体行政情報実証事業の進捗に応じて、情報提供を受けた時点からML上で随時議論
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自治体行政情報実証事業」やデータガバナンス委員会で作成するオープンデータマニュアル(仮称)について検討を行う 	
法人 会員	アプリ作成グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自治体行政情報実証」のオープンデータを用いて、オープンデータ・アプリコンテストに応募する 	2月3日～2月17日
	ビジネスモデル検討グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2014年3月に予定されている第4回利活用・普及委員会で表彰された「オープンデータ・アプリコンテスト」の応募作品や、総務省の行政情報実証実験で開発されたアプリ、自治体分科会の中で出たアイデアなどを、実際にビジネス化するための検討を行う。検討結果はビジネスモデル計画書としてとりまとめ、コンソーシアムHP上で提出・公開していただく。 	3月中旬～5月上旬

2.4 自治体分科会活動報告

■ 会員／自治体アンケート結果

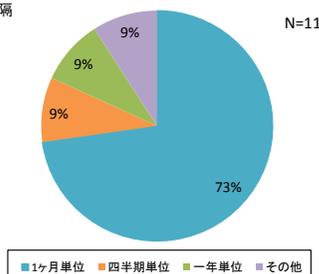
■ 第1回会員アンケートにより、「住民基本台帳ベースの人口及び世帯データ」でニーズが高かったデータ公開方法は、**可能な限り粒度の細かい情報**であった。

必要なデータの間隔	1ヶ月単位 (42.5%)
いつから必要か	1988年(平成元年)以降 (32.3%)
いつ時点のデータが必要か	12月末または1月1日現在 (35.0%)
必要な年齢区分	1歳間隔 (80.6%)
必要な居住地区分	丁目単位 (38.7%)
その他の必要な属性	<ul style="list-style-type: none"> 国籍別人口 (71.0%) 後期高齢者医療の被保険者数 (71.0%)
必要な世帯主の属性	<ul style="list-style-type: none"> 世帯主の年齢別 (77.4%)
必要な世帯構成	<ul style="list-style-type: none"> 世帯構成別 (87.1%) 高齢者 (87.1%)

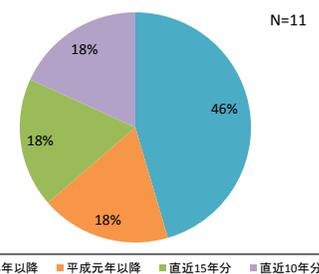
それぞれの粒度での公開可能性やこれらの条件を合わせた場合の公開可能性を検討

■ 自治体分科会会員自治体が各団体のHP上で公開している「住民基本台帳ベースの人口及び世帯データ」について、「必要なデータの間隔」「いつから必要か」「必要な年齢区分」「必要な居住地区分」の最小単位について確認した。

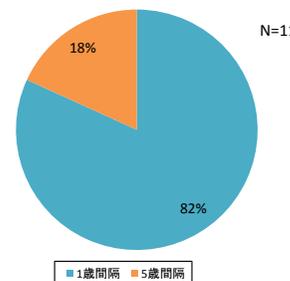
データの間隔



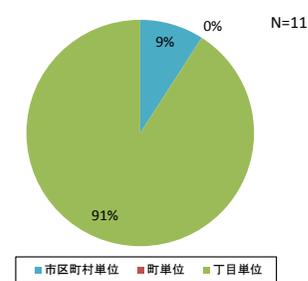
データの始点



年齢区分



居住地区分



- 統計データの最小単位での公開に関しては、会員自治体から物理的な対応としての検討事項と法的な対応としての検討事項が提示された。
- 物理的な対応については、データの抽出方法の変更によりシステム改修が必要になる場合があり、ニーズや費用対効果の検証が必要との意見があった。
- 法的な対応については、会員自治体内でも現状の対応や考え方も分かれているため、ガバナンス委員会に対応について諮問することとする。

2.5 オープンデータ・アプリコンテスト授与式

■ 審査結果

賞	作品名	応募者
最優秀賞	花粉くん(花粉くん.com)	博報堂アイ・スタジオ
優秀賞	フォトロケハンター!!	株式会社jig.jp チーム・メガサバ
佳作	odStatViewer	東京国際大学佐藤研究室
技術賞	プラチナ社会を支えるデータクリエイタのための基盤アプリケーションLinkData.org	Code for プラチナ社会
	BeaconCast	中尾 彰宏
	セーフティコンパスfor京都市	徳田 貴司
実証実験賞		
自治体行政情報実証賞	～情報の防災袋～ iSHelper(アイ・シェルパー)	宮城県工業高等学校 情報研究部
社会資本実証賞	視覚障害者サポートアプリ	株式会社オリズン
観光実証賞	ご当地なび	京都フラワーツーリズム合同会社
防災実証賞	津波避難ナビ	超次元空間情報技術株式会社
公共交通実証賞	3D山手線時計	重定 如彦
統計情報・データカタログ実証賞	Hello Town!	岡田 彩香
花粉症関連情報実証賞	花粉くん(花粉くん.com)	博報堂アイ・スタジオ

参照：<http://www.opendata.gr.jp/2013contest/award/index.html>

2.5 オープンデータ・アプリコンテスト授与式

■ 授賞式



2.6 勝手表彰授与式

■ 審査結果

賞	作品・イベント名	製作・実施主体
最優秀賞	インターナショナルオープンデータデイ2014	OKFJおよび全国の開催地域
優秀賞	データカタログサイト試行版	日本政府(内閣官房 IT総合戦略室)
優秀賞	5374(ゴミナシ)	一般社団法人コード・フォー・カナザワ
優秀賞	富岳3776景	静岡県と山梨県
スポンサー賞		
インディゴ賞	自分で計算してみる日本の予算2013	think tonight Inc.
OKFJ賞	5374(ゴミナシ)	一般社団法人コード・フォー・カナザワ
国際大学GLOCOM賞	LinkData.org	理研豊田研究室
jig.jp賞	Code for KOSEN	Code for KOSEN
トーマツ賞	アグリノート	ウォーターセル株式会社
日本IBM賞	ちばレポ	ちば市民協働レポート実証実験運営事務局 千葉市広聴課
日本マイクロソフト賞	Fukuoka Facts	福岡市(市長室 広報戦略室 広報戦略課) 製作: COUPS Inc.

2.6 勝手に表彰授与式

■ 受賞作品・イベントの一例

賞	最優秀賞	優秀賞
作品・イベント	インターナショナルオープンデータデイ2014	データカタログサイト試行版
受賞者	OKFJおよび全国の開催地域	日本政府(内閣官房 IT総合戦略室)
概要	<p>2014年2月22日に世界中の都市で、オープンデータイベントを開催。2014年は昨年の4倍の32都市が参加した。</p>  <p>http://odhd14.okfn.jp/</p>	<p>2013年12月20日にスタート。1万件近いデータセットのメタデータを公開。</p>  <p>http://www.data.go.jp/</p>
講評	オープンデータの普及にとって、開催地域の数、参加者の総数、世界の中でのプレゼンスの向上、いずれをとっても文句がない実績となった、OKFJのみならず、全国の開催地域の主体を評価したい	今年度のオープンデータの動きを象徴するサイトであると同時に、個々の自治体の活動全体を代表して選定したい。



OPEN DATA

オープンデータ流通推進コンソーシアム